

2016年PDCAサイクル実施状況

*ワーキンググループ以下WGとする。

WG名	院内がん登録	化学療法	緩和ケア	医師会などとの地域連携	がん相談支援	医療指標およびがん診療委員会ホームページ教育研修	クリニカルパス	放射線
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 2015年症例の登録及び提出 地域がん登録への協力（廻り調査など） 予後支援事業への協力 院内がん登録の状況をホームページにて情報開示をおこなうとともに随時更新していく。 全国がん登録登録様式に沿った2016年症例の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 外来病棟間の連携による化学療法を受けている患者家族への継続支援 外来にて経口抗がん薬を開始する患者への継続支援 レジメン審査委員会の定期開催 	<ul style="list-style-type: none"> がん診療に携わる医師対象の緩和ケア研修（PEACE）開催 地域の医療従事者に対する緩和ケア研修開催・事例検討会開催 院内の医療従事者に対する緩和ケア研修開催 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携協議会の定期的開催 医師会との症例検討会の実施 開業医参加によるがんセンターの定期開催（呼吸器・消化器・外科カンファレンス） 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者情報交換会「たんぼぼ会」の定期開催 がん患者会ネットワーク香川への協力 がん相談員指導者研修への参加およびがん相談員研修・交流会への参加（2回/年） 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者のニーズに対応した情報の適宜公開 	<ul style="list-style-type: none"> がん（大腸・胃）のパスについて地域との連携を図る かかりつけ医などからの放射線診断依頼に対する協力 	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 国へ提出済み症例2014年症例の受け入れ状況のグラフを作成し、ホームページに公開。（2016年10月スミ） 院内がん登録2015年症例を9月までに完成し、国立がんセンターへ届出（9/1提出スミ） 廻り調査・予後支援調査に参加する。（2017年1月に廻り調査2012年症例、7月予後支援調査（2010、2012年症例）提出スミ） 地域がん登録へ2015年症例の届出 香川県・愛媛県 （2016年9月末スミ） 全国がん登録に沿った登録様式 情報に順次対応中 2017年2月9日現在、HosCanRに品質管理ツールが導入され、現在エラチェック中 	<p>上記項目に関して下記に示す内容を実行する</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来でTS-1、ゼロダ開始時と治療中の患者に対して、専門職が介入できるシステムを構築し、実施した。 化学療法開始時、専門職による情報提供を行った。また、治療中は服薬管理や有害事象を含めた症状に対し、多職種で関わり、予防と症状が悪化しない様に努めた。 外来化学療法室で治療を受ける患者に対し、がん専門薬剤師も関わり、薬剤説明、有害事象のマネジメントを看護師とともに行った。また、有害事象に対して主治医へ薬剤の処方の変更を行った。 化学療法相談は、平均32件/月で、化学療法認定看護師が中心に対応した。 <p>平成29年2月21日 化学療法に関する研修会</p> <p>「近年めざましく進歩した肺がん治療における副作用対策」</p> <p>四国がんセンター 野上 尚之医師 参加者 近隣医療機関 9件を含む86名</p>	<ul style="list-style-type: none"> がん診療に携わる医師対象の緩和ケア研修（PEACE）開催 平成28年9月3・4日実施 質の高い終末期看護を提供する看護師の研修（ELNEC-J）開催 平成28年5月28・29日実施 地域の医療従事者に対する緩和ケア研修開催・事例検討会開催 平成27年6月9日 緩和ケア勉強会実施 「せん妄と認知症の対処法」 水島協同病院 岡田 理之先生 参加者 98名 平成28年10月1日 事例検討会実施 院内の医療従事者に対する緩和ケア研修開催 平成28年8月10日 緩和ケア研修会（看護師対象） 平成28年7月1日 倫理研修会（基礎編）実施 平成28年10月7日 倫理研修会（応用編）実施 	<ul style="list-style-type: none"> 医師会との症例検討会実施 平成28年5月13日実施 「皮膚血管肉腫について」 皮膚科 妹尾 明美医師 平成28年7月8日実施 「当院のPET検査について」 放射線科 中村 哲也医師 平成28年10月14日実施 「抗がん剤による眼障害」 眼科 村田 晶子医師 「頭頸部悪性腫瘍の初期症状」 耳鼻咽喉科 岸野 毅日人医師 平成29年1月13日実施 「当院緩和ケア病棟の利用状況」 緩和ケア科 細川 敦之医師 平成29年3月10日 「原発性虫垂癌の臨床病理学的検討」 臨床病理学 検査科 外科 宇高 徹総医師 「若年女性の巨大卵巣腫瘍」 産婦人科 藤原 晴菜医師 地域医療連携協議会の年2回の開催（9月、2月） 呼吸器カンファレンス開催（毎水曜日） 消化器カンファレンス開催（毎火曜日） 外科カンファレンス開催（毎木曜日） 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者情報交換会「たんぼぼ会」実施 平成28年5月10日 実施 「お口のケアについて」 歯科衛生士 井下 祐里 平成28年8月9日 実施 「ストレスと上手に付き合う」 臨床心理士 豊田 京子 平成28年11月8日 実施 「がんの痛みの緩和について」 緩和ケア部長 細川 敦之医師 平成28年2月14日 実施 「抗がん剤治療について」 がん化学療法認定看護師 伊加 由美 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルのホームページ公開（2015年9月） 2014年院内がん登録情報のホームページ公開（2016年10月） 電光掲示板による「たんぼぼ会」開催表示を継続中。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年2月21日 化学療法に関する研修会 「近年めざましく進歩した肺がん治療における副作用対策」 四国がんセンター 野上 尚之医師 参加者 近隣医療機関 9件を含む86名 *化学療法WGと共催 新規連携医療機関の確保 平成28年度連携医療機関数 胃癌 15件（前年比1件プラス） 大腸癌 15件（前年比1件プラス） 肺癌 3件（変動なし） 前立腺癌6件（変動なし） 乳癌 1件（変動なし） 連携パス実施件数 2016年は3件 	<ul style="list-style-type: none"> がんステージングのためのCT、PET-CTの撮影及び診断（遠隔による診断も含む） 放射線治療の実施（他院治療のみにも対応） 病棟と連携し、放射線治療・化学療法中の口腔ケアの導入を開始 化学療法・放射線治療 平均15～16名 放射線療法は今年度は 0件
ミーティング開催状況	毎月第2木曜日がん診療委員会にて進捗状況を報告	<ul style="list-style-type: none"> 原則月1回 毎月第2木曜日に、がん化学療法看護認定看護師から報告 毎月第2木曜日がん診療委員会にて進捗状況を報告 	<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日に緩和ケアチームカンファレンスを開催し、チームで介入している患者の情報共有・問題解決に向けての計画を立案した。 毎月第2木曜日のがん診療委員会では、緩和ケアWGの活動状況を報告するとともに、研修会等の案内を行った。 	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告
今後の課題改善点	<p>提出期限の短縮化がおこなわれている上に、今までになかった情報公開、他の調査への協力が生じており、それに対して迅速に対応する必要がある。情報公開については、情報を更新しつつ、適宜、情報項目を増やせるようにしていく。</p> <p>全国がん登録開始による登録様式の変更など、随時内容を把握し、迅速に対応する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経口抗がん剤治療中の患者に対して、各科で診療前に有害事象チェックシートを用いて確認しているが、対応が十分できていない科もあるため、再度、外来看護師の協力が必須である。また、確実にスクリーニングができ、タイムリーに専門職へつなげられる様、外来看護師の知識向上に努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も、一般病棟に出向いて、緩和ケアチームとの合同カンファレンスを実施したが、まだ件数は多くない。チーム紹介の多い病棟と情報交換し、定期的なカンファレンス開催を実施出来るように計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 他医療機関との連携方法の見直しと改善 今後の広報内容の検討と見直し 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者、家族に対してたんぼぼ会を定期的に開催しているが、参加人数は10名前後である。今後、開催の内容を検討するとともに、外来、病棟への周知の他に、広報誌への記載など周知方法の追加を検討していく 	<ul style="list-style-type: none"> がん拠点病院としての情報の提示が必要に応じての提示のみである。今後は、随時各項目に即した更新、追加ができるように掲載内容の見直し、検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携医療機関は、徐々に増加しているが、連携パス実施に至っていない。連携パスについての周知が不十分のため、今後は、周治および実施の働きかけをおこなっていく 	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療の副作用や口腔ケアへの対応を実施しているが、件数としては、普及段階で、今年度は0件。今後の受け入れ体制の整備が必要
2017年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> 新規登録・調査提出期限を厳守し、必要に応じて、院内がん登録統計情報更新をおこなう。 登録の精度向上のため、必要に応じた研修受講に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き化学療法を受けている患者家族への継続支援 外来にて経口抗がん薬開始後の患者への継続した支援 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修会や事例検討会は引き続き実施するが、それ以外に一般市民に対する市民公開講座の開催も計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 顔の見える連携の強化 医師会との症例検討会、地域医療連携協議会の開催の続行 	<ul style="list-style-type: none"> たんぼぼ会の定期開催と参加人数の確保 がん相談指導員の育成と研修会参加などを行い、相談員の質の向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者に対する治験情報や実施状況の掲示と随時更新 上記以外のがん治療などの情報の公開、随時更新 	<ul style="list-style-type: none"> 各医療機関との連携を図る際のパスの導入方法を検討し、パスを使った連携の件数の増加をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> 治療の副作用へのスクリーニングと対応手順の確立